

策定から10周年!

くまもと県南フードバー構想



©2010 熊本県くまモン

1 6次産業化※・農商工連携による地域内生産物等の高付加価値化

目指す姿

農林水産物の品質を高め、多様な高付加価値商品を生産し、フードバーとしてのブランドを確立させていきます。

実績 RENGA認定商品数 61商品

フードバレーアグリビジネスセンターでの新商品数 190商品

※ 農林漁業(1次産業)を、加工などの2次産業、サービスや販売などの3次産業まで含めた一体的な産業として捉え、新たな付加価値を生み出すことで、農林漁業者の所得向上などを目指す取り組みのこと。



熊本を南から熱く支える熊本県南を、「熊」という文字を下から支えている部首「火(連火(れんが))」に見立てたブランド名です。



県南地域の優れた商品を広く全国で販売していくため、県南地域の知名度向上とブランド化に向けて、「RENGA」ブランドを創設しました。くまもと県南フードバー推進協議会ホームページでは、RENGA認定商品や作り手の皆さんを紹介しています。



県南フードバー 検索



3 アジアとの貿易拡大・首都圏等への販路拡大

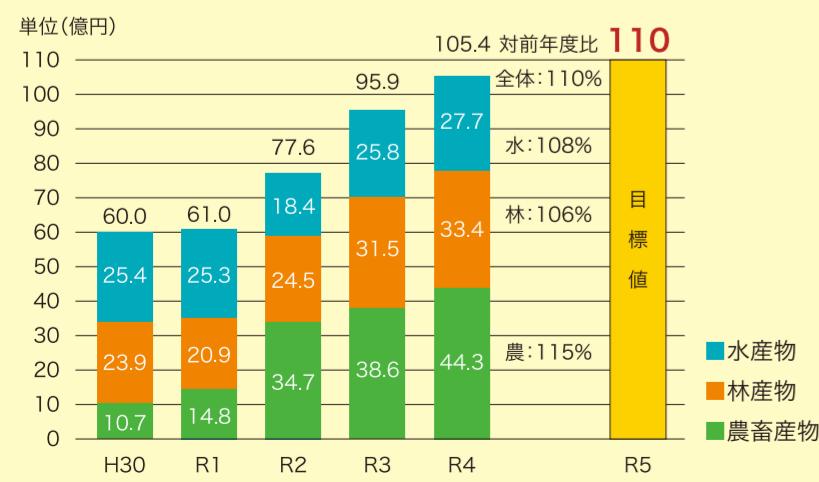
目指す姿

県南地域の農林水産物や加工品が、八代港の活用等によってアジアを中心とした海外へ活発に輸出されることを目指します。首都圏等の大消費地において、県南地域の生産物の認知度を向上させ、販路の拡大に繋げます。

実績 県産農林水産物等の輸出額が過去最高を更新(R4:105.4億円)

くまもと県南フードバー推進協議会の支援による商談成約件数 272件

県産農林水産物等の輸出実績



首都圏等への販路拡大

大都市圏をターゲットとした販路拡大を進めています。百貨店等における県南産品フェアや、生産者と事業者との商談会を開催します。



県南産品物産展の様子

展示商談会の様子

4 人材育成の強化・推進体制の構築

目指す姿

分野を超えた幅広い知識を持つ人を育て、地域のリーダーとなる人材の育成を目指します。研究・教育機関、金融機関と連携し、推進体制を強化します。

実績 フードバー経営塾生(R3,R4)23名

県南地域の高校と連携した商品開発(H27~R4) 6校14商品



フードバー経営塾

食関連企業の経営者等を対象に、県南フードバーを支えていく人材の育成のため「フードバー経営塾」を開催しています。3期目となる今年度は、1~2期生との情報交換や交流を実施し、塾生のネットワークを広げ、新ビジネス創出を支援します。



[問い合わせ先]くまもと県南フードバー推進協議会事務局 0965-52-1020

高校との連携

次世代を担う人材育成のため、県南地域の高校と連携し、商品開発を支援しています。



ちりめん甘夏(TSM)(水俣高校企画商品)

くまもと産業復興エキスポへの出展

2024年2月に開催の「くまもと産業復興エキスポ」へのブース出展や、県南地域の食材を使ったフードコーナーの出店を予定しています。



くまもと県南ふうーど市場

通販サイトで県南地域の商品を購入することができます。贈り物にもおすすめです。2024年2月末まで令和2年7月豪雨復興支援感謝キャンペン実施中!

[問い合わせ先]運営会社:株式会社KASSE JAPAN
096-325-8331(平日9:00~17:00)

構想推進の取り組みと実績



熊本県知事 蒲島郁夫



熊本のおいしい魚を食べましょう
旬を迎える「田浦銀太刀」はじめ、熊本のおいしい水産物をぜひ賞味ください。

